

報道関係各位

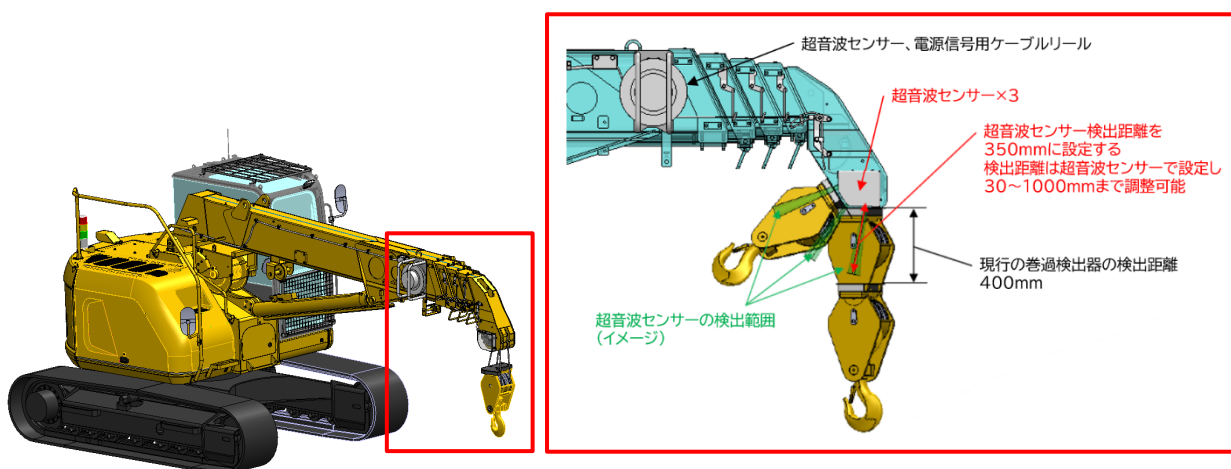
2025年2月13日

クレーン作業の安全性を向上

新開発「巻上ワイヤ破断防止装置」付クローラクレーンのレンタル開始

株式会社 アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、株式会社前田製作所(本社:長野県長野市、代表取締役社長:塩入正章、以下前田製作所)と共同で、新しい巻き上げ防止センサー「巻上ワイヤ破断防止装置」を開発し、装置付クローラクレーンのレンタルを2025年2月13日(木)から開始いたします。



アクティオと前田製作所は、クレーン作業の安全性向上のため、新たな巻き上げ防止センサー「巻上ワイヤ破断防止装置」を共同開発しました。従来のクレーンには巻き上げ防止として巻過検出器が既に搭載されていますが、現場での作業効率を優先するあまり、安全装置を解除して使用する例が多くあります。特に地下鉄工事などでは、巻き上げたままアームを伸ばしてワイヤが切断される事故が頻発していました。

新開発の「巻上ワイヤ破断防止装置」は、センサー技術を活用してワイヤとの巻き上げ距離を正確に測定し、危険な状況を事前に検知します。

既存の巻過検出器に加え、ブーム先端右側面に超音波センサーを3個設置し、別回路でフック接近を検出する2重安全システムです。巻過検出器はブーム先端から400mm、超音波センサーは350mmで検知し、巻過検出器が先にフック接近を感知してブーム操作を停止します。万が一、巻過検出器が作動しない場合、超音波センサーがフックの接近を検知し、ブームの伸長と巻き上げを停止させます。

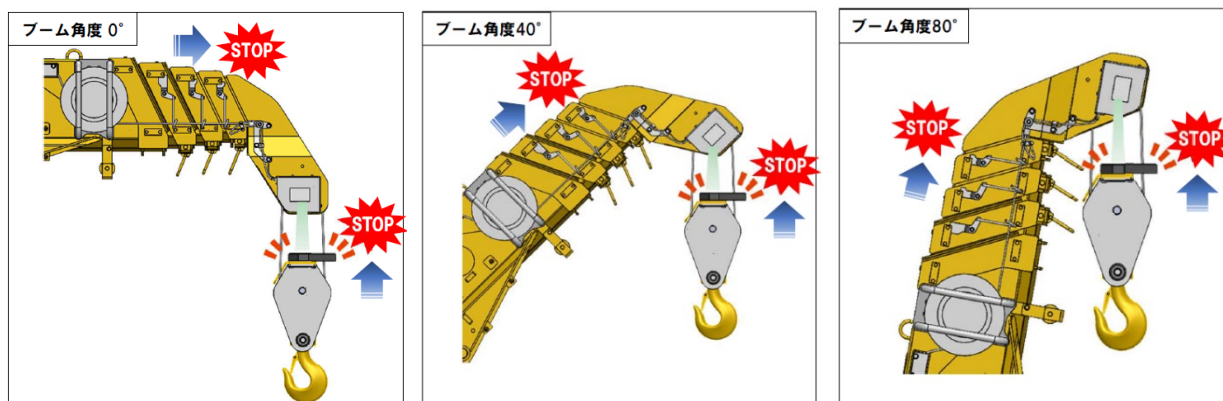
「巻上ワイヤ破断防止装置」は、クレーン作業の安全性を高め、事故防止に役立ちます。

※「巻上ワイヤ破断防止装置」は、既存の巻過検出器の代わりになる装置ではありません。通常は巻過検出器にて巻き過ぎ状態を検出します。したがって巻過検出器を無効にすることはできません。

アクティオは今後も「レンタルティング」のノウハウを活かし、安全性を向上させる製品やサービスを提供していきます。

■「巻上ワイヤ破断防止装置」特長

- ①万が一、巻過検出器が作動しなかった場合でも、超音波センサーが、フック接近を検出
- ②ブーム右側面に3つの超音波センサーを取付け、3つの内どれか1つでも反射波を検出したら、ブームの伸長と巻き上げを停止
- ③フックの接近を3つの超音波センサーがどの角度にも反応



■「巻上ワイヤ破断防止装置」付クローラクレーン 対応機種

型式 CC1485S-1 / CC1485S-3 / CC985S-3

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介しています。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に

応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp